

2021.1.14

国際フォーラムPD
セッション1 趣旨説明

地方創生SDGsの深化

- 先進都市の事例から -

村上 周三

東京大学 名誉教授

自治体SDGs推進評価・調査検討会 座長(内閣府)

地方創生SDGs金融調査・研究会 座長(内閣府)

セッション1 地方創生SDGsの深化～先進都市の事例から～

1 パネリスト

- 亀山 紘氏
- マハディ・チェンガ氏
- ペールエリック・ヘーグベリ氏
- 藤野 純一氏

2 プログラム (計80分)

- 1) コーディネーターによる趣旨説明 5分
- 2) パネリストによるプレゼン 4名×8分=32分
- 3) 意見交換 2サイクル×16分=32分

3 意見交換

論点1 SDGsの深化の現状:世界の都市の事例

- ・ 都市におけるSDGs達成に向けた取組状況

論点2 地域活性化の方向:官民連携の動向

- ・ 自治体や地域企業等による地域経済活性化に向けた官民連携

・ まとめ

地方創生SDGsの取組の展開

2008～
(環境未来都市構想)

2014
(第1期 まち・ひと・しごと創生総合戦略)

2019

2020
(第2期)

環境モデル都市
(2008)

環境未来都市
(2011)

環境未来都市構想
推進協議会 (2008)

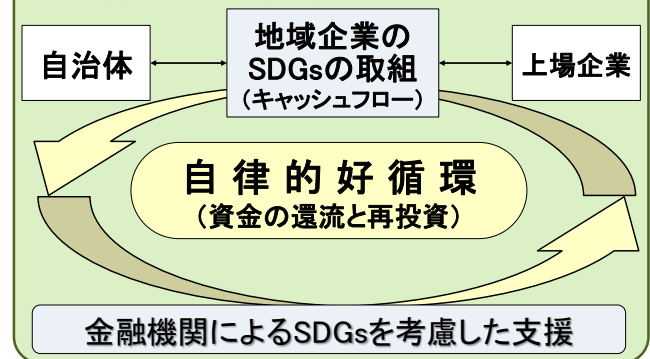
自治体SDGs推進
評価・調査検討会
(2017)

SDGs未来都市
(2018)

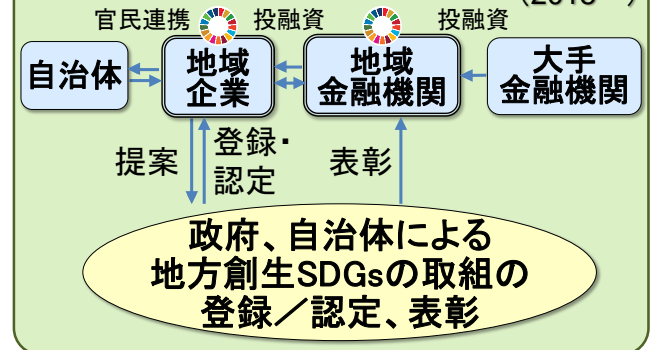
SDGsモデル事業
(2018)

官民連携
プラットフォーム
(2018)

自律的好循環の形成 (2018～)



地方創生SDGs金融フレームワーク (2018～)

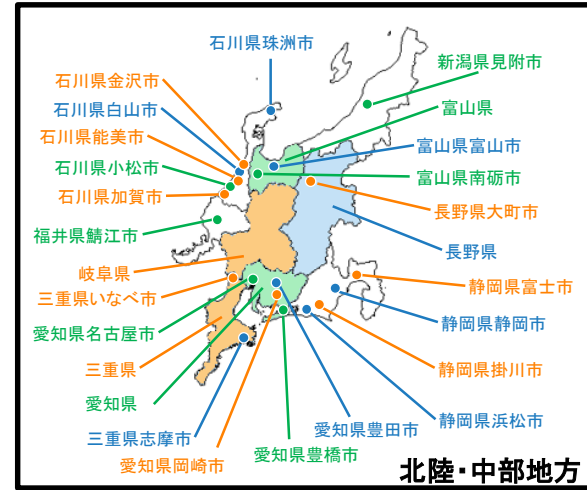
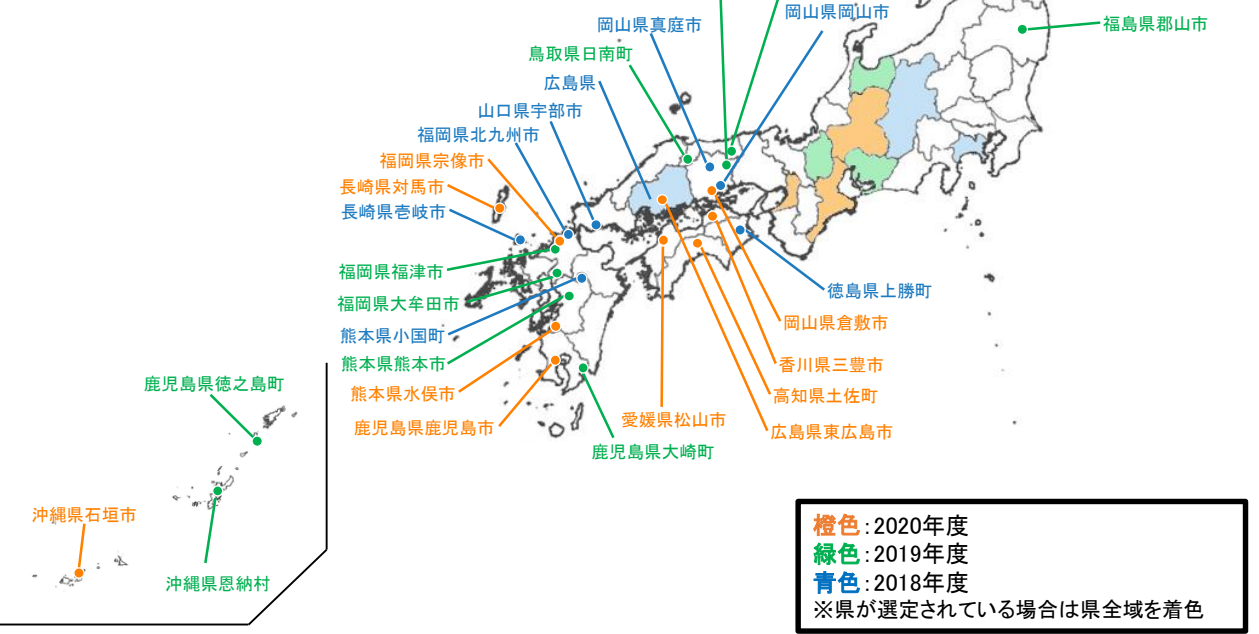
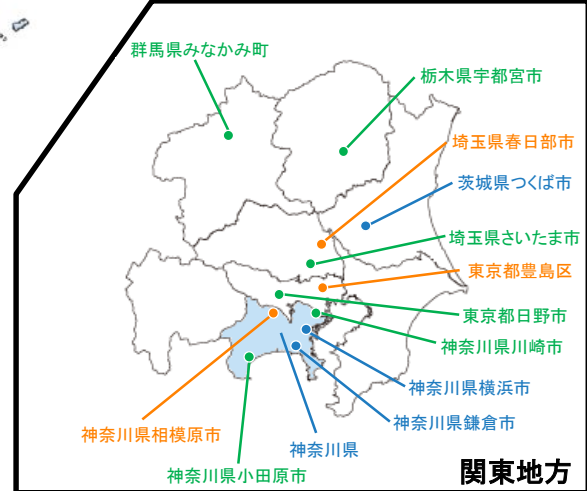
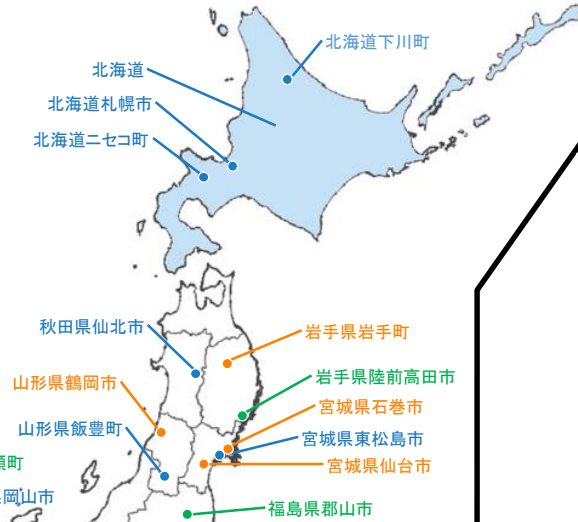
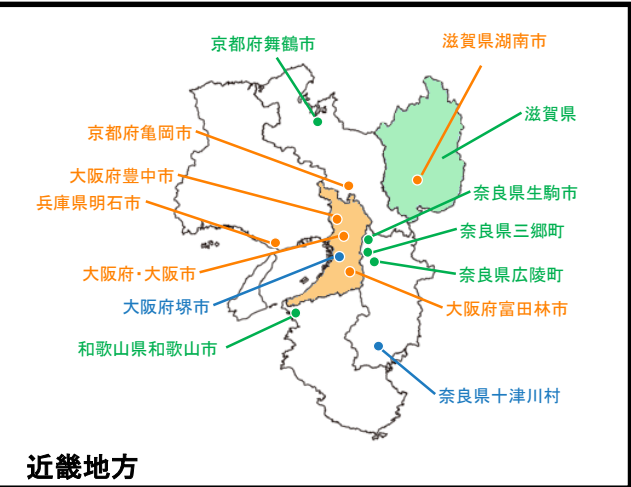


キープレイヤーとしての自治体

官民連携

民間企業もキープレイヤーとして参画

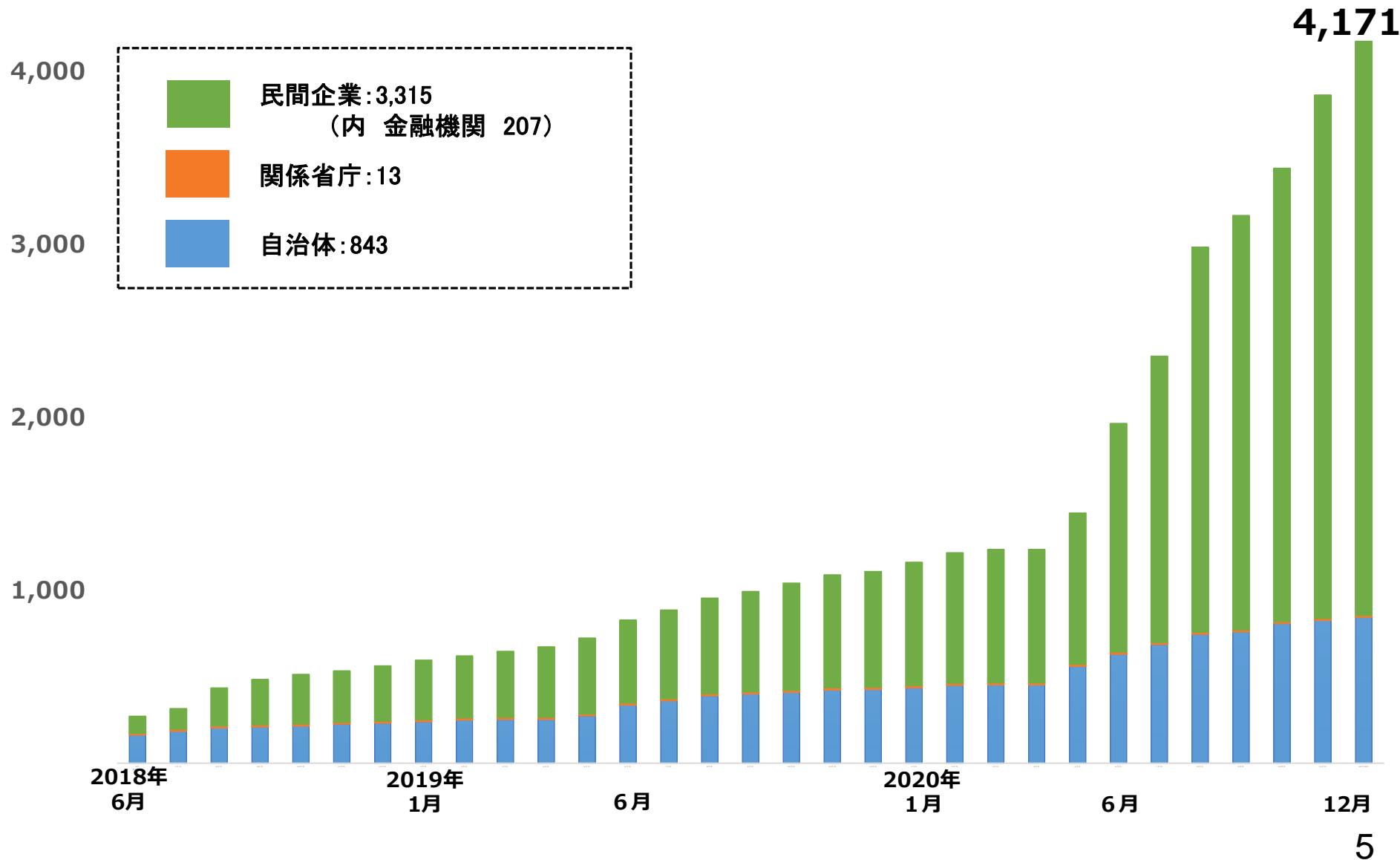
選定されたSDGs未来都市 (2018~2020の3年間)



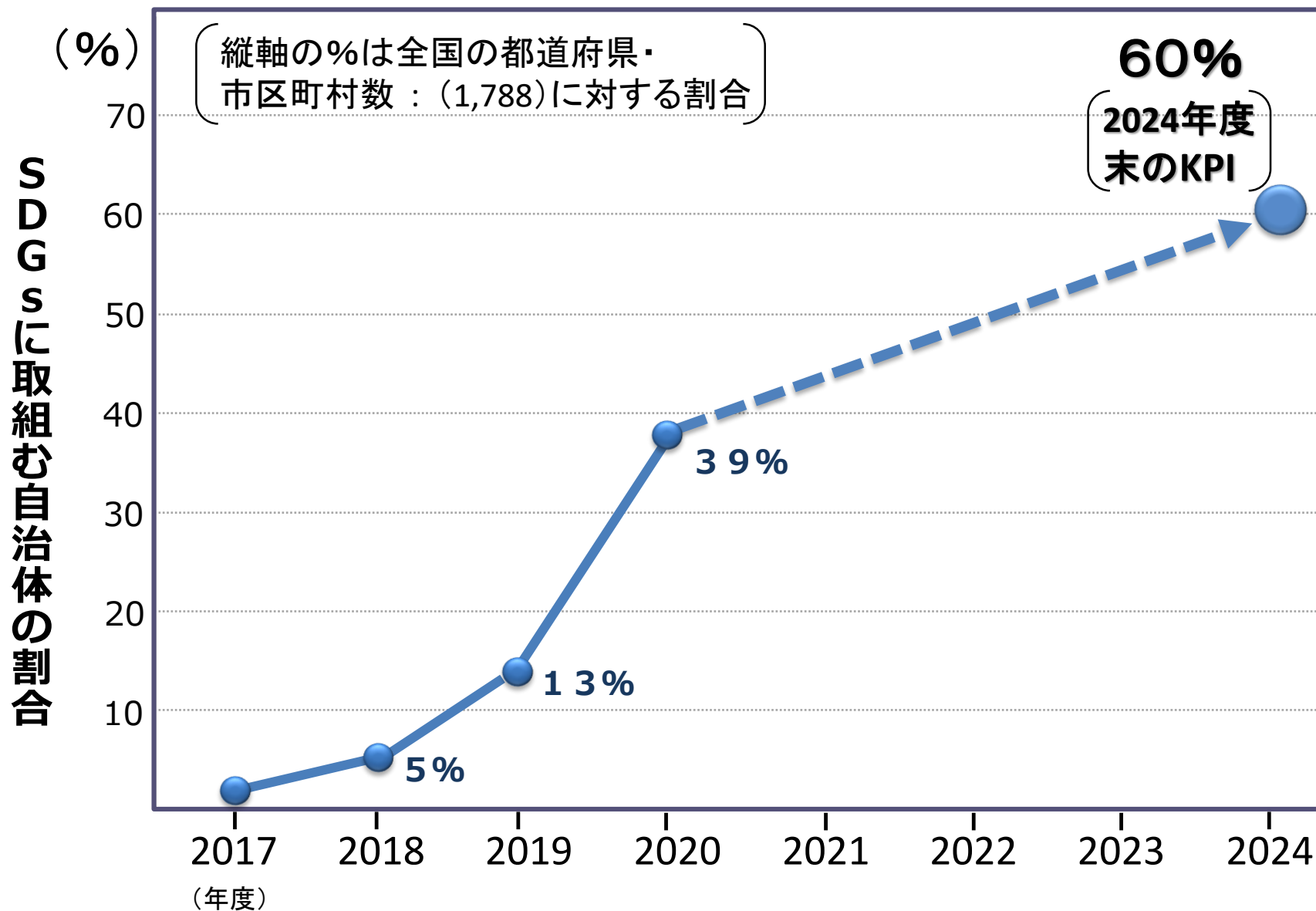
橙色: 2020年度
緑色: 2019年度
青色: 2018年度
 ※県が選定されている場合は県全域を着色

出典: 国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>) の白地図をもとに作成

官民連携プラットフォーム会員数:4,171団体



SDGsに取り組む自治体の割合



第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の〈政策体系〉の基本目標 (2019.12.20 閣議決定)

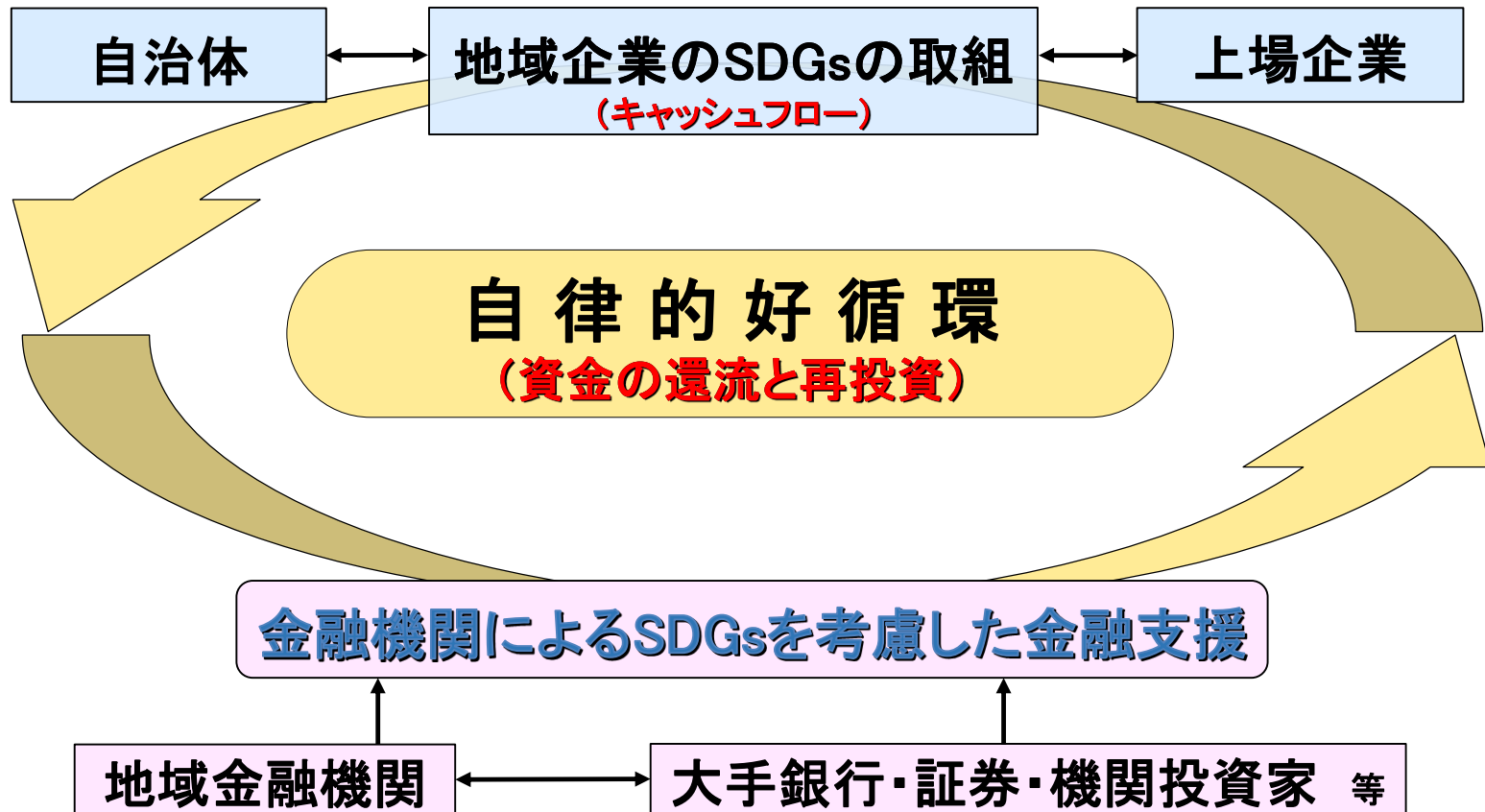
1. 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
2. 地方とのつながりを築き、
地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる
魅力的な地域をつくる

⇒ 地域経済の活性化をいかに実現するか？

⇒ 自律的好循環と金融フレームワーク

自律的好循環と地方創生SDGs金融 (内閣府、2018年度)

(地方創生SDGs・ESG金融調査研究会(2019.3))



- ⇒ 地域企業は事業活動を通じて地域課題の解決を図りながら新たなキャッシュフローを生み出す
- ⇒ 得られた収益を地域に再投資して自律的好循環を実現する

地域企業の活性化に向けた 地方創生SDGs金融フレームワーク



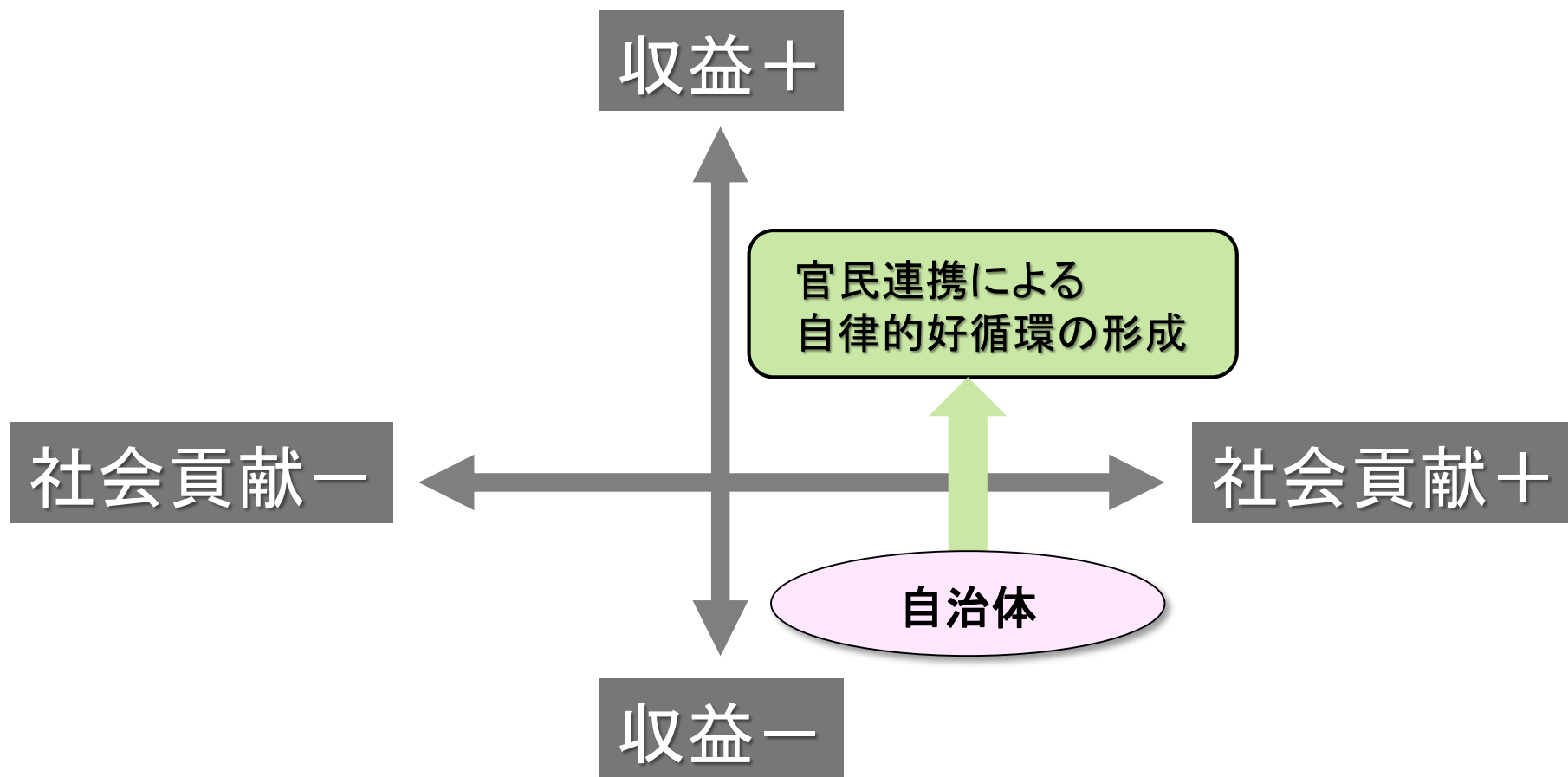
フェーズ 1
登録/認定による
地域企業の
SDGsの取組の
見える化

フェーズ 2

- 優れた地域金融機関
の表彰
- SDGsを通じた地域企業
と地域金融機関
の連携促進

フェーズ 3
SDGsを通じた
地域金融機関等と
大手金融機関の
連携促進

SDGs時代の自治体経営：自治体と企業の連携による地域活性化



⇒ 自治体と企業の連携

- ・ 目標の共有：持続可能な社会（ESG、SDGs）
- ・ 得意/不得意分野の補完性：収益事業

地方創生SDGsと 新型コロナウイルス 感染症対策に関する 提案書

自治体SDGs推進評価・調査検討会
「地方創生SDGsと新型コロナウイルス感染症
に関する検討ワーキンググループ」(2020.9)
(事務局: 内閣府地方創生推進事務局)

内容 梗概

1. 自治体行政とコロナ問題
2. SDGsの枠組みの下での
コロナ対策の大系化
3. コロナ禍が地方創生SDGs
の取組に与える影響
とその対策

WGメンバー

村上周三 (座長)
秋山弘子
城山英明
関幸子
藤田壮